



The Y's MEN's CLUB of

もりおか

<VOL222.2026.6>

もりおかクラブ事務所：〒020-0021 盛岡市中央通3-19-22 019-658-8773 盛岡YMCA内
盛岡YMCA HP <http://www.ymcajapan.org/morioka/> 検索エンジンワード「盛岡YMCA」

6月の聖句 コリントの信徒への手紙 13章8節



「愛は永遠に続き、この世が減じようとも決して減じることがありません。。」

国際会長	エドワード・オン
アジア太平洋地域会長	田上 正
東日本区理事	山下 真
北東部長	三田 庸平(もりおか)
もりおか クラブ会長	長岡 正彦

「主題」

「信念、愛、行動」
「信念と愛をもって行動しよう」
「ワイズのらしさ再発見」
「ユースと共に明るい未来を」
「リーダーの志を、全力で支えよう」

会長	長岡 正彦
副会長	山口 貴伸
書記	濱塚 有史
会計	三田 庸平
副会計	大関 靖二
担当主事	中村 渉(ちゃん)
メネット	井上 優子

2026年7月定例会

日時、場所 7月11日(第3土曜日) アイーナ団体活動室3
18時～20時
例会費 1,000円
卓話 FPIC 盛岡ファミリー相談室
山崎 祥子 様
「離れて暮らす親子の交流のお手伝い」

会長巻頭挨拶



長岡会長

みなさま、こんにちは。2025～2026も年度末を迎えました。今年度はけっこう充実した1年になったと思います。三田メンが北東部長に就任しました。彼の活躍により、北東部は近年になく活発な活動ができたと思います。特にワイズとユースを繋ぐ行動には目をみはる活躍でした。三田部長は来年度も2期目の部長職を続けます。私は、なんと3年連続の会長職を続けます。6月は毎週ワイズの行事が続きました。東日本大会、盛岡 YMCA の総会、今年度最後の例会、この最後の例会では新会員の程海薇さんをお迎えできました。カイビさん末永く活動していきましょう。

現在サッカーのワールドカップ開催中です。わが日本はいいスタートを切り、3戦目に決勝トーナメント進出を掛けます。このブリテンが完成するころには最高のニュースが入ってくることを期待しています。

6月定例会の報告

6月20日(土)、アイーナで開催。参加者、長岡、大関、三田、シンディ、山口、千葉、中村、(敬称略)以上7名。ゲスト、程海薇(テイカイビ)さん、千葉芽生さん(ビリケン)と息子さんの柊(もみじ)くん、横山結花さん(ひつつみ)、竹知桃花さん(サン)、稲端涼夏さん(チュール)、佐藤瞭さん(タイム)、土田勇斗さん(アポロ)、以上8名、全15名で開催されました。開会点鐘は「ひつつみ」、閉会点鐘は初ベル打のチュールでした。

今晚のメインイベントは、程海薇(テイカイビ)さんの入会式です。



カイビさん入会おめでとうございます

長岡会長の入会式文に続き、ワイズのバッチ、ランチョンバッチの

装着。東日本区からの入会キットを贈呈して記念撮影。立会人は北東部長の三田メンでした。入会おめでとうございます。心より歓迎いたします。これから、もりおかクラブの発展と、リーダー達の応援に力をお貸しください。

東日本区大会の報告。盛岡YMCAの年次代議員の報告、岩城南クラブの15周年記念例会の報告を行い、食事、1分スピーチを行い入会式の夜は更けていきました。

程海薇(ティカイビさん)の入会挨拶です。

初めて入会を誘われた時は、どんな組織なのか解らず一歩を踏み出せませんでした。濱塚メンのお話が解りやすく感じて、活動を見学しました、軽トラ市です。そこでこのクラブはリーダーと社会を繋ぐパイプ役なのだろうと理解しました。リーダー達の体

験学習を応援したくて、入会を決意しました。これからよろしくお願いたします。



新会員を迎えて、充実感いっぱい例会でした

第29回東日本区大会開催
「瓦礫、命、感謝。次の未来へ」

北東部の石巻広域クラブ主催で行われた今回の大会は東日本大震災からの復興をアピールする大会になりました。福島を除く多くの東北各地は15年の歳月を費やして、ようやく復興が進みました。大会を運営するのは大変な労力と精神力、クラブの団結が必要です。石巻クラブは見事にやり切りました。感謝申し上げます。ありがとうございました。



石巻市は大河北上川が太平洋にそそぐ街です。北上川を津波が遡上して、思いもよらない、内陸奥深くまで津波の被害が及んだ街です。直接大津波に襲われた沿岸部の破壊された街、当時のあの状況をみて、だれがきれいな街が戻ると想像できたでしょうか。しかし、石巻は見事に復興しました。皆様に復興した石巻を紹介したかったのでしょう。この石巻で東日本区大会が開催されたことは、感謝と感激です。いままで、頑張ってきました。これからは若い力をさらに結集して、未来へ進もうという、わくわくするような大会でした。ユース部会も過去にない、積極的なプログラムを展開。大会に花を添えました。

石巻市は大河北上川が太平洋にそそぐ街です。北上川を津波が遡上して、思いもよらない、内陸奥深くまで津波の被害が及んだ街です。直接大津波に襲われた沿岸部の破壊された街、当時のあの状況をみて、だれがきれいな街が戻ると想像できたでしょうか。しかし、石巻は見事に復興しました。皆様に復興した

もりおかクラブは、4つの表彰を受けました。ユース代表、山口満穂さん(しらたま)への感謝状、地域奉仕 YMCA サービス事業、ASF 献金貢献賞、ユース事業、ユース活動支援献金貢献賞、理事表彰のブリテン優秀賞でした。しらたまの感謝状とユース関連の2つの表彰は、もりおかクラブの活動が認められたのだと思います。大変うれしく思います。ブリテン優秀賞は13年前の最優秀ブリテン賞の受賞以来の受賞でした。勝手に書いてきたブリテンの何が評価されたのかはよくわかりませんが、単純に嬉しかったです。



4個の表彰ワッペン

「ブリテン盛岡DAON」

もりおかクラブの状況報告

6月の出席率	8名	50%	ゲスト8名	メネット	0名		
メーキャップ	0名			6月切手	35g	累計	255g
6月のにこにこ	0円	累計	0円	富士宮焼きそば	0円	累計	0円
6月 石鹸	0円	累計	0円	りんご	0円	累計	0円
6月 献金	0円			ファンド合計	42,000円		

会費の納入をお願いいたします。岩手銀行 本店営業部(店番号 001)普通口座 2391117

もりおかワイズメンズクラブ 代表 長岡 正彦

6月のハッピーバースディ 6/26 千葉 伸行メン お誕生日おめでとうございます。

もりおかクラブ創立20周年記念式典開催決定

2007年2月、もりおかクラブは発足しました。月日を重ね20年の歳月が経ち、来る2026年11月、20周年記念例会を開催することが決まりました。

役員で検討した結果、ありきたりの企画ではつまらないと、シンディウィメンが率いるイワテサークルフレンズの力を思いっきり借りて、ミュージック&ダンスフェスティバルを企画しました。

シンディウィメンはシンガーとしての実力は十分、他にも歌姫はたくさんいます。そしてリーダー会も出し物を企画中という事です。

メインは音楽とダンスですが、もりおかクラブの創立に格別の尽力を賜った、井上修三メン、バナーのデザインを賜った千葉代子さんのへの感謝状の贈呈なども企画しております。

会場は、岩手県公会堂。大正時代に建立された歴史ある建物です

岩手県公会堂は、佐藤博士の代表作の一つである日比谷公

会堂と非常によく似た外観をしています。2年先に完成した岩手県公会堂は地上6階建てに4階建ての塔をのせた日比谷公会堂に比べて規模は小さいですが、スクラッチタイル張り外装や塔屋の姿はまるで兄弟のようです。いずれも耐震壁構造を備えた近代コンクリート建築の先駆けのような存在でした。

公会堂西側の庭園内に、原敬の銅像があります。原敬と言えば「平民宰相」の名で知られ、日本の政党政治の基礎を築き政党内閣を実現させた岩手が誇る郷土の偉人です。

このような歴史がある公会堂の大ホールで、もりおかワイズメンズクラブの20周年記念式典を開催することは、とても意義深いものを感じます。みなさん、おでんせ。

カイビさん入会の例会で、やる気まんまんの一分スピーチ
大関メン：メネットの家庭菜園を手伝ったら、足腰の痛みが再発、しっかり治して、11月の20周年記念例会に備えて行きます。

千葉メン：午前中とおきの音楽祭、すべての人が楽しめる行事があります、市民福祉バンク主催で、明日行います。今日は準備でテント張りを行ってきました。市内あちこちで音楽が溢れます。

佐藤瞭さん(タイム)：運転免許証を取りたくてあせっています。サンよりは早く取りたいです。頑張ります。

シンディウィメン：ミンダナオ島で大きな地震がありました。現地のYMCAと連絡を取って、明日の募金はウクライナとミンダナオ島に送ります。

ティカイビウィメン：自己紹介します。ティカイビと申します。「カイビ」と呼んでください。2003年留学生として日本に来ました。19歳でした。日本の暮らしの方が長くなりました。就職して今の旦那と結婚して盛岡に来ました。語学の仕事をしていました。今は、保険の販売をしています。国際交流の団体も運営しています。

長岡会長：獣と仲良くなりたいです。夜明けと同時にウグイスとホトギスが鳴きだします。「アッチャトンデッタ」と鳴きます。その後キジが叫びだし、とてもうるさいです。

中村メン：食事制限して、毎日の散歩をしています。ビリケンとゴリナに焼き肉屋に誘われ、焼き肉と冷麺の大盛

を食べてさらにアイスクリーム。痩せられないよなあ。

三田メン：僕は1Kg 痩せました。次年度も北東部長を引き受けます。北東部フォーラムを1泊2日で行いたいです。ユースを含めて、福島ワイズ設立に向けて飯坂温泉に行きたいと思っています。

稲端涼夏さん(チュール)：岩手大学人文社会科学部です。卒論の1回目が迫って、あせっています。赤ちゃんポストと内密出産制度について研究しています。赤ちゃんポストは熊本と東京にしかありません。なぜ増えない、増やしているの？妊婦さんの支援制度が足りない、性教育の問題、赤ちゃんポストはキリスト教系の病院、いろんな要素がからんで、私、論文書けるのかな。

千葉芽生さん(ビリケン)と息子さんの柊(もみじ)くん：息子が生まれて7カ月です。この子です。かわいいです。朝弱かった私が規則正しい育児生活です。これからもワイズに参加しますのでかわいがってください。

竹知桃花さん(サン)：就職活動を開始しました。切羽詰まって、やらなきゃ」と思っていました。テトリスにはまっています。ゲーム機はスイッチ、このギャップはすごい。私が勝つまでタイムと延々とテトリスをしています。

横山結花さん(ひつつみ)：教育実習がよいよいよ始まります。3年生のクラスにYっ子が4名もいて気になってしかたありませんでした。47都道府県をまだ覚えていません。ばれないうちに覚えなきゃ

土田勇斗さん(アポロ):Yのミーティングで改善した方がいい事を感じていました。今年の森のキャンプでは私がメインリーダーです。改善したミーティングで、段取りよく運営します。

山口メン:先週、北海道にいつてきました。エスコンドームは開閉式の屋根で、とても綺麗です。日本ハムは楽しむ野球に特化している感じです。対戦相手へもリスペクトもあります。野球の楽しみ方が変わるのでしょう。

盛岡 YMCA 会員総会から、 福島スタディツアーの北報告

福島の「今」から未来を考える

東日本大震災は、地震・津波・原子力災害が重なった三重災害。福島の課題には、立場によって見え方が変わる複雑さがある。「安全か危険か」「復興したかしていないか」と簡単に言い切れない現実があると知りしました。だからこそ、現地に立ち、直接聞き、考える必要があると感じました。「福島の問題は、遠い地域の問題ではなく、私たちの生活とつながっている」現地に立つと、見えない放射線の問題、帰れないふるさと、語り続ける人の覚悟が、自分の問いになります。誰かが正解を教える場ではなく、違う世代違う立場の人が出会い、悩みながら学ぶ場でした。



この子達は素晴らしい感性を持っていて、頭が良いよね

大熊未来塾と木村紀夫さんから受け取ったこと

ご自身の経験を通して、次の災害で命が失われない社会を問い続けている。「誰も犠牲にしない社会」という言葉が強く残った。語りは悲しみの共有だけでなく、私たちへの問いかけだった。原発事故によって、津波被害の捜索が阻まれたという話を聞きました。災害の被害が「自然災害だから仕方ない」だけでは語れないことを知り、便利な生活の裏側にある責任を考えました

「誰も犠牲にしない世界」木村紀夫さんの言葉です。

ランドセル、教科書、掲示物、黒板。そこには「さっきまで誰かがいた日常」が残っていました。ニュースの映像では「被災地」として見ていた場所が、教室に残る物を見た瞬間、子どもたちの生活の場所として迫ってきたからです。

灰色の世界。放射線は見えず、匂いもない。数値を聞いても、安心か危険かを単純に判断できませんでした。健康影響、避難、帰還、エネルギー、仕事、家族。立場が変わると判断も変わること気づいたからです。「正しい答え」を急ぐより、複数の視点を持ち、わからなさへ耐えながら考え続けることが必要。「一つの視点だけでは物事を理解できない」

堤防の例から考えた「復興」実際の津波の高さは約 20m。一方

で、震災後に建てられた堤防は約 10m。たしかに未来に おいて、この堤防が役立つ可能性はあります。しかし、その前に、被災地で今を生きる当事者が何を必要としているのかに目を向けなければならないと感じました。当事者の必要から離れてしまうなら、その先にあるものは「復興」ではなく、別の何かではないか。

自分の生活とのつながり。スマホ、照明、冷暖房、AI。私たちの日常は電気に支えられています。原発事故の被害は、電気を使う私たちの生活とつながっていると感じました。「知らなかった」で終わらせず、誰に負担を押しつけていないかを考えたい。「便利な生活の裏側には、誰かの犠牲があるかもしれない」

リーダーが受け取った学び。メディアや教科書では届かない「現実」がある。聞いた者として、忘れられることを防ぐ役割がある。単純な肯定・否定ではなく、複雑さを引き受ける。YMCA リーダーとして、子どもたちに災害を怖がらせるだけでなく、自分で考え、行動し、命を守る力を育てたいと感じたからです。「次世代が理不尽な苦しみを受けない社会を作る努力のできる人」

盛岡 YMCA の使命と重ねて。盛岡 YMCA の使命と重なる点こどもたちの個性・夢・希望・生きる力を育む。家族の絆といのちの大切さを深め合う。異なる文化・多様な価値観と出会う場を提供する。福島で学んだことは、災害の知識だけではなく、いのちを守ること、違う立場の人の声を聞くこと、正解のない問いを共に考えること。そのすべてが YMCA の学びだと感じました。

これからの提案。ツアーを単発で終わらせず、毎年または隔年の継続事業として育てる。防災・いのち・エネルギーを、野外活動やサンスクールで体験的に学ぶ。会員・ワイズ・リーダー・地域の方が、結論を急がず対話できる場をつくる。現地で受け取った問いは、一度の発表で終わるものではないからです。継続し、子どもたちに返し、大人も語り合うことで、福島の学びを YMCA の活動に根づかせたいと考えました。

リーダーとしての決意。現地で聞いた言葉を、自分の言葉で伝える。子どもたちに「考える力」「命を守る力」を育む関わりをする。エネルギーや消費について、自分の生活から見直す。わからなさを抱えたまま、対話を続ける。私たちは被災を直接経験してなくても、聞いたことを誰かに渡すことはできます。福島で見た現実を自分の中だけにしまおうのではなく、子どもたちや YMCA の活動につなげることが、参加したリーダーの責任だと感じました。「この経験を自分の中だけで終わらせない」

編集後記

リーダーの報告が素晴らしいものでした。感想と考察、これからどう行動するのか、よくかかれています。ダメ出しの意見がきました。さすがに、頭が良いですね。

みなさん、井上修三メンに会いに来てください、もりおかクラブを造った功労者です。彼の頑張りから20年経ちました。

現在6月28日午前7時、サッカー日本代表は見事に決勝トーメント進出です。さらに頑張れ～。